

決算報告

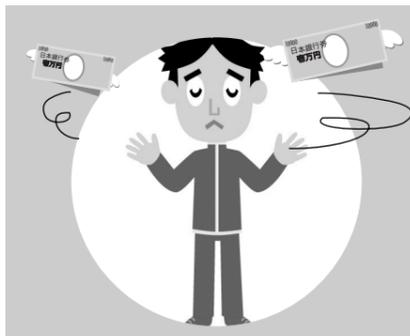
香南市となったが厳しい台所

平成17年4月1日から平成18年2月28日まで旧町村の決算、3月1日から3月31日まで香南市の決算を報告します。

平成17年度は国の三位一体の改革により、平成13年度から地方交付税の大幅な減額が続けられています。財政の根幹である税収入も年々減少しており、香南市になってからも厳しい財政運営となりました。

歳入では、2月末の打ち切り決算になったため、町村税や国・県支出金地方債などが未収入となり、前年度に比べ大幅な減額となりました。

歳出面では合併に向けた電算システム統合など条件整備のため香南市5町村の総務費が大きく増加しています。また、教育費では南海地震に備えるために野市小・香我美小学校の耐震補強を行いました。



自主財源と依存財源

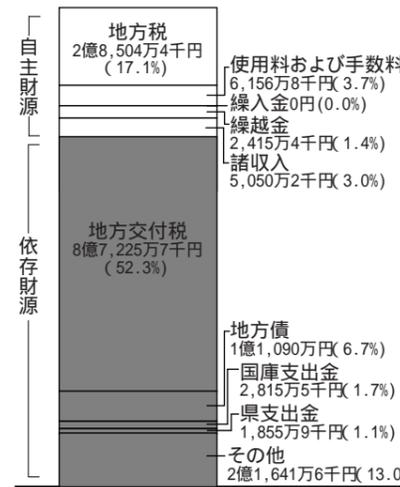
歳入には、自主財源と依存財源があります。市税や手数料など直接市の収入となるものを「自主財源」、国や県から入ってくるお金や市債(借金)などのことを「依存財源」と言います。自主財源が多いほど、安定した施策の運営をすることができます。

歳入 2月末での打ち切り決算となったため、地方譲与税、特別交付税、使用料、国・県支出金等の3月分が未収入となり、総額で前年度対比 37.8%、10億1,353万5千円の減額となりました。

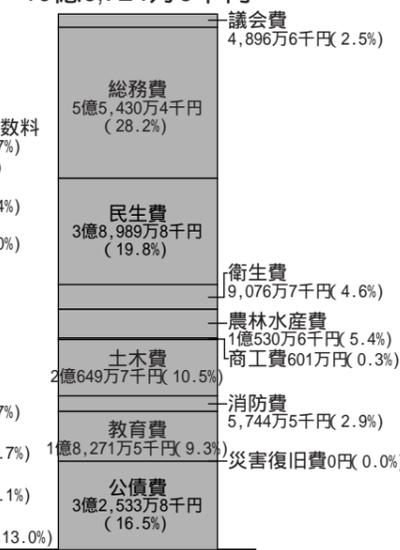
歳出 主な内容としては、総務費の電算システム統合等の合併に伴う経費、弁天座整備事業、農林水産業費の漁村コミュニティ基盤整備事業、土木費の町道舗装・側溝改修事業、栄町団地建設事業などです。

赤岡町

歳入総額 16億6,755万5千円



歳出総額 19億6,724万6千円

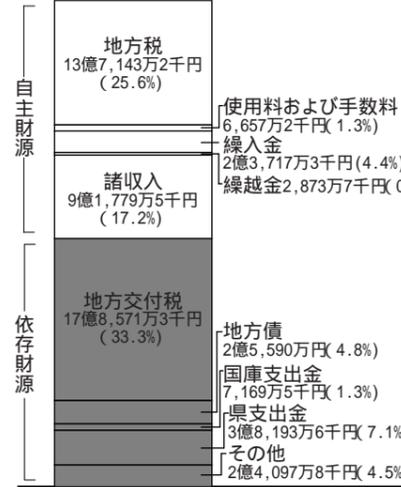


歳入 2月末での打ち切り決算となったため、町税を始め補助事業にかかわる国庫支出金・県支出金・地方債など歳入の多くが未収入の状態です。平成17年度歳入は、合併を控えての、あたらしいまちづくり交付金(県支出金 2億8,333万3千円)や、合併に伴う庁舎改修事業・システム統合経費等のための4町村からの受託事業収入(諸収入 6億2,670万2千円)などです。

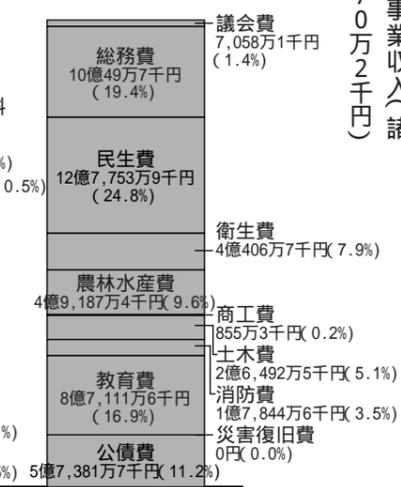
歳出 主な内容としては、市町村合併に伴う庁舎改修事業・システム統合事業、国勢調査・衆議院選挙(総務費)、農道水路の整備、農村振興総合整備事業(農林水産業費)、町道の整備(土木費)、野市小学校舎大規模改修・耐震補強事業(教育費)があげられます。

野市町

歳入総額 53億5,793万1千円

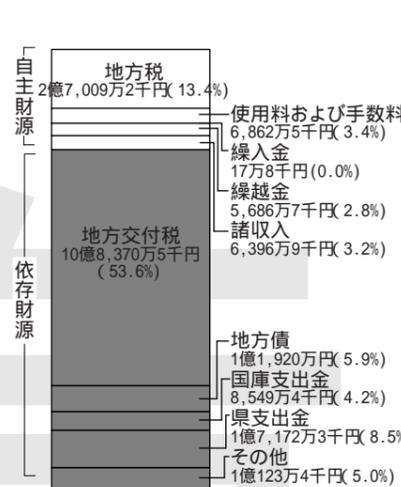


歳出総額 51億4,141万5千円



夜須町

歳入総額 20億2,108万7千円



歳出総額 22億2,763万4千円

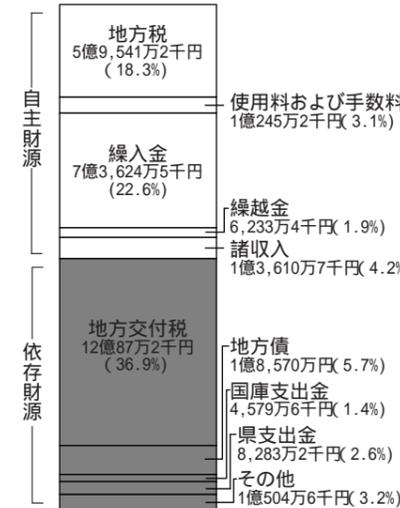


歳入 昨年度に比べて3億1,872万円の減額となりました。これは2月末の打ち切り決算のため、地方債・地方交付税・国・県支出金等が未収入になっていることが原因です。

歳出 主な内容としては、総務費の合併に伴う電算システムの統合による経費、1億1,675万4千円(ヤ・シヤパーク内に建設した地場産品販売施設 7,678万9千円)、災害復旧費(1億7,044万8千円の増)などです。

香我美町

歳入総額 32億5,279万6千円



歳出総額 30億3,226万5千円



歳入 昨年度に比べて1億1,132万円の増額となりましたが、これは2月末の決算です。地方債・地方交付税・国・県支出金が入金にならないので繰入金で補ったため、繰入金が増えています。

歳出 主な内容としては、総務費の合併に伴う電算システムの統合による経費、土木費の町道鶏戸内線の整備事業、教育費の岸本小学校耐震補強事業などです。